

2017年4月4日

■ ホール、スタジアム、野外などの大規模コンサート音響に対応

ヤマハ デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」 さまざまな用途に対応するコンポーネントを追加

－ 小型のコントロールサーフェスとネットワークカードを追加、既存モデルも機能を強化 －

ヤマハ株式会社は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」のコントロールサーフェス『CS-R10-S』を6月に、専用ネットワーク用 TWINLANe カード『HY256-TL-SMF』を7月に発売します。また、「RIVAGE PM10 ファームウェア V1.5」を7月にリリースします。

<価格と発売日>

品名	品番	価格	発売日
コントロールサーフェス	CS-R10-S	オープンプライス	2017年6月
TWINLANe カード	HY256-TL-SMF	オープンプライス	2017年7月

<製品の概要>

当社は、1887年の創業以来、楽器の分野だけでなく音響機器の分野においても革新的な製品を提供してきました。2001年に発売した「PM1D」は、大規模ライブ SR (Sound Reinforcement : コンサート用音響) に特化したフルデジタルコンソールとして、その卓越した音声処理技術、高度な機能性と信頼性により、以後のライブコンサートや劇場における音響システムに大きな変革をもたらしました。そして2015年には、ホール、スタジアム、野外などでの大規模ライブ SR における新世代フラッグシップモデルとなるデジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」の出荷を開始、これまでに世界各地の大規模コンサートの現場で使われ、サウンドクオリティ、操作性、信頼性、拡張性などで高い評価を得ています。



コントロールサーフェス『CS-R10-S』は、発売中のコントロールサーフェス「CS-R10」の約3分の2のサイズを実現したモデルです。高い操作性はそのままに、「CS-R10」との組み合わせやメイン/モニター用など、さまざまな用途に対応できます。また、『HY256-TL-SMF』は、シングルモードファイバーに対応した TWINLANe カードで、デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」の伝送距離の長距離化を実現します。

さらに、最新のファームウェア V1.5 は、今回発表した新コンポーネントへの対応に加え、Eventide

社のウルトラハーモナイザー「H3000 Live」や Dan Dugan Sound Design 社のオートマチックミキサーなど、さまざまなプラグインを新たに搭載します。

詳細は以下の通りです。

<主な特長>

1. 省スペースのコントロールサーフェス『CS-R10-S』

デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」は、マイクやアンプ等を接続する入出力カードと「I/O ラック」、ミキシングやエフェクトなどの信号処理を行う「DSP エンジン」、操作部となる「コントロールサーフェス」、これらをネットワーク接続するための専用カードで構成されます。

『CS-R10-S』は、発売中のコントロールサーフェス「CS-R10」の約 3 分の 2 のサイズを実現したもので、高い操作性はそのままに、さまざまな用途に対応できます。また、Dual Console 機能 (将来アップデートにて対応予定) により、DSP エンジン「DSP-R10」に対して 2 台の「CS-R10」または「CS-R10-S」を接続することができます。会場の規模や設置スペースに応じて、FOH (客席) とモニターポジション (ステージ袖) のそれぞれに「CS-R10-S」を設置したり、「CS-R10」のサイドカー (拡張用) として「CS-R10-S」を組み合わせる、といった使い方に対応できます。



コントロールサーフェス「CS-R10」(写真左)と『CS-R10-S』(写真右)

2. シングルモードファイバーに対応した TWINLANe カード『HY256-TL-SMF』

デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」の「I/O ラック」と「DSP エンジン」は、最大 400ch のオーディオネットワークを構築できる専用の TWINLANe ネットワークで接続します。マルチモード光ファイバーケーブルを用いる TWINLANe カード「HY256-TL」に対し、『HY256-TL-SMF』ではシングルモード光ファイバーケーブルで接続できるようになります。このとき、カード間の最大ケーブル長は 2km、TWINLANe リングの合計ケーブル長は 6km に対応します。



TWINLANe カード
『HY256-TL-SMF』

3. ハーモナイザーやオートマチックミキサーの機能が追加となるファームウェア V1.5

システムの最新のファームウェア V1.5 は、今回発表した新コンポーネントへの対応に加え、Eventide 社のウルトラハーモナイザー「H3000 Live」や Dan Dugan Sound Design 社のオートマチックミキサーなど、さまざまなプラグインを新たに搭載します。

「H3000 Live」は、極上のサウンドエフェクトとして多くのエンジニアやミュージシャンに愛用されている Eventide H3000 Ultra-Harmonizer をライブユースに最適化した新開発のハーモナイザーです。ピッチシフト、ディレイ、リバーブ、モジュレーション、フィルターなどさまざまなモジュールを搭載したパワフルなプロセッサで、それらのモジュールを有機的に結合するアルゴリズムを搭載しています。

Dan Dugan Sound Design 社の「オートマチックミキサー」は、最大 64 チャンネルのスピーチマイク回線のゲイン配分をリアルタイムで自動最適化し、まるで複数の優れたオペレーターが操作をしているかのような、自然な音量制御を実現します。さらにハウリングやコムフィルターの発生を抑制するなど、さまざまな恩恵も得られ、台本がないスピーチ現場でも、個々のフェーダー操作に煩わされることなく、質の高い安定したミックス作業を行えます。

※ デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」と今回の新製品の詳細は、ヤマハ プロオーディオサイトを参照ください。

http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/products/mixers/rivage_pm10/



ヤマハ デジタル・ミキシング・システム「RIVAGE PM10」
コントロールサーフェス『CS-R10-S』

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 ブランド・商品広報グループ 担当：木崎

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

(電話受付：祝祭日を除く月～金/11:00～18:00)

ウェブサイト <http://jp.yamaha.com/support/>